

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【褥瘡管理室】

指標名

褥瘡推定発生率

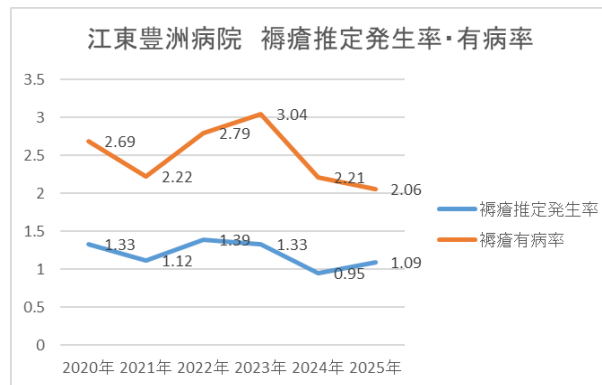
目標：ゴール

褥瘡推定発生率 0.84%以下

目標：ゴール達成による効果

褥瘡は患者の苦痛や感染の原因となるだけでなく、医療費拡大や在院日数の長期化に影響する。褥瘡を予防することは、患者が安心して安全な入院生活を送ることや、医療費拡大の抑制、在院日数の短縮につなげることができる。

目標：ゴールに対する成果の状況



目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☒ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

整形外科術後患者の褥瘡発生割合が高く、術後早期は鎮痛剤の持続使用により知覚が低下し、褥瘡発生前に回避行動をとれないことや、術後疼痛により離床が進まず局所が長時間圧迫されることが、原因として挙げられる。今年度は、体圧分散マットレスの拡充や患者指導の実施、観察の徹底により予防ケアを強化し、新規褥瘡発生数の減少を目指す。